

賀詞交歓会（25.1.17）挨拶

会員の皆様におかれましては、ご家族とともに、健やかな新年を迎えられたことと思います。

大阪電業協会ならびに日本電設工業協会 関西支部共催の 2025 年新春賀詞交歓会開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本日は、会員の皆様には、多数ご出席をいただき、また日頃から、本会事業活動へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、公務ご多忙の中、国土交通省 近畿地方整備局営繕部様、経済産業省 中部近畿産業保安監督部 近畿支部様、大阪府都市整備部 住宅建築局様をはじめ、関係官公庁、関係団体から多数の来賓のご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、我々を取り巻く環境は、国内外による政局の変化など、注視する必要がありますが、設備投資は堅調に推移しており、建設業界においても底堅い需要が続いている状況にあります。

インフラを支え、電力安定供給の一翼を担う私たち電気設備工事業界としては、これらの多くの需要に対し、しっかりとその役割を果たしていかなければなりません。

今年は昭和 100 年と言われますが、本日 1 月 17 日は、阪神淡路大震災から 30 年という節目の日にあたります。

改めてあの日を思い起こし、昨年の能登半島地震をはじめ、近年、激甚化する自然災害の復旧復興への対応に、しっかり備えていく必要があります。

そして、さらに、昨年 4 月に始まった「時間外労働上限規制への対応」など「働き方改革」という課題もあります。

今年度は、昨年公布された「第三次・担い手 3 法」の施行に向け、労働者の処遇改善、資材高騰に伴う労務費へのしわ寄せ防止、生産性向上に主眼においた関連法令の整備が進められます。

日本電設工業協会としましては、昨年度に続き、発注者様等に対して「4 週 8 閉所の実現」「適正工期の順守」「仕様の早期決定」のほか、今年度は「対等な契約関係の構築」を加え、申入れ活動を行っております。

私たちとしましては、引き続き、関係各所のご協力を得ながら、長時間労働を是正するための労働環境改善や生産性の向上など、働き方改革の取組みを積極的に推進して参りたいと考えております。

また、カーボンニュートラル社会の実現に向けた G X への取組みや、生産性を高めるための D X など、課題としてしっかりと捉え、対応していく必要もあります。

そして、これらの取組みは、業界の魅力を高めるとともに、将来を担う若手入職者の増加や定着に繋げていく上でも大切なことであると言えます。

今後、協会としても、しっかりとこれらのことを推し進めていくと同時に、会

員企業の皆様におかれても、引続きご尽力いただきますようお願いいたします。

この春には、いよいよ大阪・関西万博 “いのち輝く未来社会のデザイン” が開幕を迎えます。

この一大イベントが、会場建設含め、準備に携わってこられた皆様の努力の結晶として実を結び、大阪・関西、そして日本の成長を持続させる起爆剤として、成功裡に収めるよう努めていきたいと思えます。

最後になりますが、本日ご臨席の皆様にとって、本年が充実した1年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上